

ごあいさつ



山陽特殊製鋼株式会社
代表取締役社長

武田 安夫

経営理念「信頼の経営」を基軸に歩みを進め、創業80周年を迎えました。

当社は、2013年11月10日、おかげさまで創業80周年を迎えることができました。これもひとえに、ステークホルダーの皆様の長きにわたるご愛顧、ご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

1933年の創業以来、当社は高品質の特殊鋼を安定的に提供することを通じて、幅広く産業を支えるとともに、豊かで文化的な社会の発展に寄与してまいりました。事業活動において、当社が基軸とするのが、経営理念である「信頼の経営」です。誠実・公正・透明な企業経営を実践するとともに、経済的使命・社会的使命を果たすことで、「社会からの信頼」、「お客様からの信頼」、「人と人との信頼」という3つの信頼を確立することが、当社の考えるCSRの基本です。創業80周年の節目に、今一度CSRの基本を見つめ直し、新たな一步を踏み出していきたいと考えています。

経営体質を強化し、将来の事業基盤の整備を進めてまいりました。

2013年度は、第8次中期経営計画の最終年度でありました。欧州債務危機や原燃料価格の高騰など、想定を上回る経営環境の変化のため、数値目標は未達だったものの、経営体質を着実に強化することができたと考えております。

特に大きな投資を行った生産能力増強に関しては、60トン連続鋳造設備、5000トン自由鍛造プレス機を立ち上げたことに加え、新しい納期システムの構築・整備により、月産10万トンの生産体制を構築しています。

また、技術先進性の強化に注力した結果、PremiumJ2、HARMOTEXシリーズ、鉛フリー快削ステンレス鋼QS12E、窒化粉末ハイスSPM X4N、ECOMAXシリーズなど、多くの新商品を世に送り出すことができ、需要家の皆様から高い評価をいただいています。

一方、海外展開に関しては、中国素形材子会社の設備を増強したほか、インドにおける新たな営業拠点として現地法人の設立や特殊鋼製造・販売の合併事業の開始など、拡大する海外の特殊鋼需要を捕捉すべく、着実に事業展開を進めてまいりました。

また、企業を支える従業員が、その能力を十分に発揮できる職場環境の整備を計画的に推進しています。2028年3月末までに女性従業員の比率を25%に引き上げることを目標に掲げ、女性が働きやすい職場づくりに向けた制度や環境の充実をはじめ、人材育成に注力しています。

さらに、地域社会の一員として、小学生向けの工場見学会や地域美化ボランティア活動を実施しているほか、姫路市の「地域防災貢献事業所」に登録し、地域防災力の向上にも取り組んでいます。2013年4月には、山陽特殊製鋼文化振興財団を公益財団法人化し、より公益事業を充実させる基盤を整えました。

一人ひとりの環境意識の底上げに継続して取り組み、コンプライアンスの徹底を図ります。

当社は、事業活動の全ての段階において環境の保全に配慮し、循環型社会の構築に貢献することを「環境方針」に掲げています。しかしながら、2012年9月、当社が処分委託していたレンガくずの一部に薄い鉄皮が付着しており、これが処分委託先最終処分場の取扱許可

品目に入っていなかったことから、廃棄物の処理及び清掃に関する法律違反の容疑で警察当局の捜査を受け、2013年6月に書類送検されるという事態が生じました。本件は、2013年9月に不起訴処分(起訴猶予)となりましたが、株主、お客様をはじめとするステークホルダーの皆様にご心配をおかけすることになりましたことを深くお詫び申し上げます。

このことを真摯に受け止め、役員をはじめ、全社を挙げて改善対策を実施しています。環境パトロールの実施や環境連絡会議の開催など、環境情報の共有化と環境保全活動の活性化に取り組んでいます。このような活動を継続することで、一人ひとりの環境意識の底上げを図り、コンプライアンスの徹底を図ってまいります。

環境保全への取り組みとしては、環境負荷低減に貢献する製品の製造・販売に加え、製品を製造する設備においても環境に配慮し、重油から都市ガス(天然ガス)への燃料転換や省エネルギー、生産プロセスの合理化などに継続して取り組んでいます。近年の電気料金の値上げは、電気炉メーカーである当社にとって、企業存続にかかわる死活問題でもあります。省エネルギー・省電力に向けた生産体制の構築を最重要課題として、全社が一丸となって内部努力を重ねています。

新たな挑戦を重ね、さらなる飛躍を目指します。

「人間万事塞翁が馬」は私の好きな言葉の一つです。2014年度から第9次中期経営計画がスタートしていますが、新興国の経済成長鈍化や国際競争の激化、電力・燃料価格上昇懸念など、当社を取り巻く事業環境は楽観を許さない状況です。しかし、何事も「人間万事塞翁が馬」と前向きに捉え、危機をチャンスに転じていくことが求められます。

環境の変化に柔軟に対応しながら、強靱でしたたかな企業体質へと改変し、事業の成長を図ることで、ステークホルダーの皆様の期待に応え、社会の発展に貢献してまいります。「信頼の経営」を基軸に、新たな挑戦を重ね、一步一步進むことで創業100周年に向けてさらなる飛躍を目指します。

本報告書を通じて、私たちの活動内容をご理解いただき、一層のご支援とご助言を賜りますよう、お願い申し上げます。

第9次中期経営計画 (2014年度～2016年度)

■ 経営基本方針

「高信頼性鋼の山陽」の ブランド力の更なる向上による 企業価値の増大と成長を目指して

- ◇ グローバル競争に打ち勝つための
企業体質の更なる強化
- ◇ 技術先進性の拡大
- ◇ 鋼材事業の持続的成長と
非鋼材事業の強化による
トータル収益力の向上

国際コスト競争力及び研究開発力・品質対応力・納期対応力・システム基盤等の非価格競争力を強化することで、グローバル競争に打ち勝てる企業体質の構築を図る。これにより、鋼材事業では、拡大が予想される特殊鋼需要を確実に捕捉し、第7次・第8次中期経営計画で整備した設備能力を活かして事業収益を増大する。また、非鋼材事業には積極的に経営資源を投入し、業容拡大することで、グループトータルの収益力強化を図る。

さらに、あらゆる経済環境下でも最善の収益を確保し得る、上下方とも弾力性のある、強靱な企業体質の構築を目指す。

■ 重点施策

- 1) 成長戦略の推進
- 2) グローバル競争力の強化
- 3) 持続的成長を実現するための人材育成
- 4) 投資